

エコな旅の三箇条



みなさんは、これまでに旅行中「エコ」を意識したことはあるでしょうか。

せっかく旅に出るなら、**エコな旅**をしてみませんか？

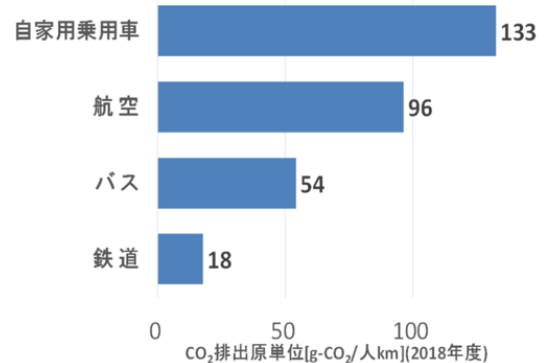
今は旅行をする機会が減っていますが、再び旅に出ることができるようになる日に向けて、エコな旅を実践するために意識して欲しい3つのことを紹介します。

第一条 電車に乗るべし

便利で快適な車。しかし、環境に悪影響を与えていることも事実です。日本の乗り物全体（自動車、航空、船舶などを含む）が排出している二酸化炭素のうち、自家用車が占める割合はなんと46.1%！そこでおすすめしたい交通手段は**鉄道**です。鉄道は排出する二酸化炭素が最も少ない乗り物で、自動車の約7分の1以下。旅先の景色を堪能でき、環境にも優しい鉄道の旅をぜひ、してみてくださいはいかがでしょうか。

※参照：[国土交通省ホームページ](#)

輸送量当たりの二酸化炭素の排出量(旅客)



※温室効果ガスインベントリオフィス:「日本の温室効果ガス排出量データ」、国土交通省:「自動車輸送統計」、「航空輸送統計」、「鉄道輸送統計」より、国土交通省 環境政策課作成

第二条 もちものに気をつけるべし

私たちがエコな旅をするとき、環境に優しく、しかも楽にできること、それはもちものを工夫することです。それでは、どんなもちものが良いのでしょうか？

其の一 水筒

水筒はペットボトルなどの資源を節約することに繋がるだけではありません。旅行先で新たに手に入れた飲み物を水筒に入れることで、保温・保冷もできて、結構便利です。



其二 エコバッグ

最近、袋が有料になりましたが、出先での買い物もエコバッグがあれば余計な出費を抑えられますね（もちろん環境にも◎）。また、もちものが増えてしまった時にも便利です。



其三 ふろしき

1枚の布から、用途に合わせていろいろなサイズに調整できる優れものです。コンパクトで洗いやすく、敷物、膝掛けにも応用できます。デザインが良いものも多いので、もちものが可愛くなるのもポイント。調べてみると、とても奥が深いのです。



其の四 歯ブラシ

使い捨て歯ブラシなどのアメニティーをできるだけ使わないようにしましょう。マイ歯ブラシを持っていき、余分な消費を増やさないことが大切です。



第三条 地産地消に注目すべし

「**地産地消**」とは、国内の地域で生産された農林水産物（食用に供されるものに限る）を、その生産された地域内において消費する取組です（参考：[農林水産省](#)）。

と、ここまでは皆さんご存知かもしれません。では、なぜ地産地消が「エコな旅」を考える上で大事なのかというと、農林水産物の輸送にかかるエネルギーを削減できるためです。また、それ以外にも、旬な食べ物を新鮮な状態で食すことができ、地域の伝統的食文化の伝承、地域経済の活性化にもつながるなど、多くのメリットがあります。

皆さんも旅をするにあたって、ぜひ地産地消を意識してみてください。



あとがき

私たちの記事を読んだみなさんがエコな旅をしたい、と少しでも思っただけならば幸いです。環境と感染に気をつけて良い旅を！！

環境 ISO 学生委員会 伊藤絢香 神谷有咲 長谷川綾香 長谷美咲

